

講座「笑い学入門」



DATA

●主な連携先・メンバー

関西大学人間健康学部教授 森下伸也／同准教授 浦和男

●活動地域

主として堺市

●活動資金

堺市と関西大学との地域連携事業

活動の目的

1 | 一般市民に対する笑い学の普及啓蒙

連携にいたる経緯

人間健康学部と堺市との地域連携事業の一環としてユーモア学プログラム担当教員が企画・運営

活動内容

全11回、各回1時間30分の講座を開講。以下、開講日・講師・タイトル

- 第1回 5月27日(土) 関西大学教授 森下伸也「笑いの花咲く国」
- 第2回 6月17日(土) 関西大学名誉教授 井上宏「笑いと純粹経験」
- 第3回 7月1日(土) 関西大学名誉教授 関谷俊彦「能・狂言と日本の笑い」
- 第4回 7月22日(土) 関西大学准教授 浦和男「日本の近代文学と笑い」
- 第5回 9月30日(土) 国際ユーモア学会理事 安部剛「エスニックジョークは社会の温度計」
- 第6回 10月14日(土) 神奈川大学教授 大島希巳江「異文化コミュニケーションにおけるユーモアの役割」
- 第7回 10月28日(土) 演芸作家 藤田曜「漫才のつくり方」
- 第8回 11月11日(土) 日本笑い学会副会長・医師 昇幹夫「笑いは最高のがん予防薬」
- 第9回 11月25日(土) 演芸評論家 やまだりよこ「上方落語の世界」
- 第10回 12月16日(土) 目白大学講師 野澤孝司「笑いの脳科学最前線」
- 第11回 1月20日(土) ユーモア・コンサルタント 矢野宗弘「落語と笑い」



活動の成果

1 | 毎回150～200名の参加申し込みがあり、多くの市民に笑い学の世界を多面的・多角的に楽しんでいた

今後の課題・目標

1 | この取り組みには実質的に堺市民限定、しかも高齢者中心という大きな制約がある。できれば今後は地域的・年齢的に対象をぐんと広げてゆきたいと考えている

●教員紹介



人間健康学部 教授 森下 伸也(もりした しんや)

1952年鳥取県生まれ。長崎大学、金城学院大学をへて現職。専攻は社会学、ユーモア学。日本笑い学会会長。著書に『ユーモアの社会学』『もっと笑うためのユーモア学入門』『逆説思考』など。